

# 市制 60 周年キャッチフレーズ いつでも わくわく きらきら IWAKI 内藤さん（平二中）の作品選ぶ



り、厳選された五点で市民投票を実施。選ばれた作品は、総計二千六百五十九票のうち六百八十票を集めた。得票率は二五・六％で、次点とはわずかな差だった。

選定されたキャッチフレーズを考案したのは、平二中一年の内藤愛美さん。単語の頭文字を合わせて「いわき」を表現した。応募にあたり、「これから、夢や希望を抱きながら輝ける、未来彩るいわき市であるように、との思いで考えた」などとコメントを寄せている。

キャッチフレーズを考案した内藤さん（右）



## 地元高校生ら参加 X マスコンサート

### ひまわり信金

ひまわり信用金庫（本部・平井上條博英理事長）は十二月二十五日、いわき芸術文化交流館アリオスで「ひまわりクリスマスコンサート」を開催した。

同コンサートは、地域の女性会員で構成されている「ひまわり会」の活動の一環。例年、著名人を招き「文化講演会」を開いているが、今年は、芸術・文化活動に取り組んでいる高校生を支援する観点から、地元高校吹奏楽部による発表の場を企画した。

磐城、いわき湯本、いわき光洋、磐城桜が丘、いわき総合、平商業の各高校が日ごろの練習の成果を発揮。各校の紹介、クリスマス曲を披露する



クリスマス曲を披露する  
高校吹奏楽部

## 地元企業のストーリー集

### いわき発！誕生モノ語り

社会に流通しているモノやサービスには、誕生にまつわるドラマがある。それを掘り出し、

光を当て、発信すれば付加価値が生まれる――。

こうした思いから、本誌・月刊『いゝど』は今春四月にも、臨時増刊号『いわき発！誕生モノ語り』（仮）を発刊する。地元企業・店舗の「足跡」を一冊にまとめたストーリー集。刊行後は、市内外に配布する。

募集中！

今春、  
発刊へ



営業活動の中で売り上げを伸ばしていくためには、商品の魅力を伝えることが不可欠。一方、モノやサービスだけでなく情報もあふれ、差別化が難しい昨今、「単なる紹介」だけでは伝えないことが難しい。解決策の一つは、商品などにまつわる「物語」を積極的に発信すること。増刊号では、読者が興味を持ちやすい市内の企業や店舗を取り上げ、「読んで楽しい、面白い」を提供しつつ、掲載企業や商品へのファン創出、ブランド価値向上などにもつなげていく。サイズはA4判、百ページ、フルカラー。詳細本誌広告ⅡチラシⅡを参照、または編集部（電話〇二四六―二九―二四二四）まで。